

安全確保に関する基本理念

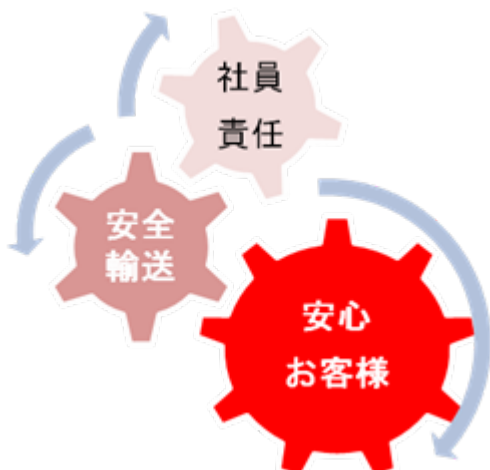


「安全は全てに最優先」

私達は、大事なお客様を全てにおいて「安全」「快適」を輸送担保に
全てに「安心」を提供することが最大の使命です。

安全方針

1. 輸送サービス・輸送環境(旅程管理)を提供するあらゆる場面においてお客様の安全を最優先にする。
2. 安全に関する法令・社内安全規程を順守する。
3. 重大事故・飲酒運転を撲滅する。
4. 輸送の安全に関する費用及び投資を効率的に行う。
5. 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な場合是正措置および予防措置を行う。
6. 輸送の安全を確保するため社員教育及び研修・管理・コミュニケーション強化、安全意識の醸成に努める。
7. 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、情報の共有化に努める。
8. 全ての輸送・営業・整備関係者が一丸となりお客様の安全を最優先に確保することを認識いたし努める。



1.輸送の安全に関する基本的な方針

『基本方針』

- 1.社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保を最優先と認識いたし主導的な役割を果たし、又現場における安全に関する声に真摯に受け止めると同時に安全の確保における意識向上に全社員へ徹底させる。
- 2.輸送の安全に関する計画の策定は、「策定」「実行」「チェック」「改善」PDCAサイクルで常時実施いたし、安全対策を全社員一丸となり業務遂行することで、輸送の安全性の向上に努めると同時に、輸送の安全に関する情報を積極的に公表する。

「安全確保に関する基本理念」

「安全は全てに最優先」

私達は、大事なお客様を全てにおいて「安全」「快適」を輸送担保に全てに「安心」を提供することが最大の使命です。

「安全方針」

- 1.輸送サービス・輸送環境(旅程管理)を提供するあらゆる場面においてお客様の安全を最優先にする。
- 2.安全に関する法令・社内安全規程を順守する。
- 3.重大事故・飲酒運転を撲滅する。
- 4.輸送の安全に関する費用及び投資を効率的に行う。
- 5.輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な場合は是正措置および予防措置を行う。
- 6.輸送の安全を確保するため社員教育及び研修・管理・コミュニケーション強化、安全意識の醸成に努める。
- 7.輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、情報の共有化に努める。
- 8.全ての輸送・営業・整備関係者が一丸となりお客様の安全を最優先に確保することを認識いたし努める。

2.輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

全社目標		達成状況
平成22年度	死亡事故・重大事故 ゼロ	0件
	飲酒運転 ゼロ	0件
	人身事故 ゼロ	0件
	物損事故 ゼロ	1件
平成23年度	死亡事故・重大事故 ゼロ	0件
	飲酒運転 ゼロ	0件
	人身事故 ゼロ	1件
	物損事故 ゼロ	2件

3.輸送の安全に関する重点施策

基本方針に基づいて、重点的に実施する施策は以下の通りです。

【平成22年度】

- ①飲酒運転撲滅・重大事故・死亡事故0
- ②歩行者優先・安全確認。
- ③運行前、車両1周目視確認・完全点検実施。

【平成23年度】

- ①飲酒運転撲滅(宿泊待機及び運行10時間前まで完全禁酒)
- ②重大事故・死亡事故・物損・人身事故0
- ③車両運行前点検完全実施と予知点検事項報告。
- ④乗務員労務の適正管理と年2回の健康診断実施。
- ⑤全社員安全意識向上の徹底。
 - * 新たな具体的取り組み
 - ・乗務員アルコールチェッカー導入。
 - ・バス車内における感染予防対策で、除菌噴霧器導入搭載。(次亜塩素酸水)
 - ・緊急連絡体制強化のため、バス車両搭載無線を新規格である「携帯電話通信網」式の無線に転換いたし、全車両搭載いたしました。(国内全域カバー)



4.輸送の安全方針及び計画

(安全意識向上の推進)

- ①年4回の社長による安全対策研修会議実施
- ②安全管理者・運行管理者・班長レベル定例会議実施(月1回)
- ③交通安全週間に適時、教育研修実施を定める。
- ④車両運行前始業点検マニュアル研修



5.輸送の安全に関し、車両整備点検の徹底



- ①車両法定点検の順守
- ②点検項目に基づき、点検励行。
- ③バス火災等防止の為の、燃料系統および計器・計測器・エンジン環境の常時点検
- ④車両保安基準に基づき、常時点検。
- ⑤タイヤの夏・冬タイヤの適正交換の徹底。



6.過労運転事故防止の為の労務管理の徹底

- ①乗務員労務時間の徹底管理
- ②自社独自システムにおける運行管理の活用徹底と情報登録・共有管理。

スケジュール

2011年11月 2011/12/07 ~ 2011/12/13 期間表示 車両表示切替 休日入力

大型 中型 小型 廃車 登録抹消

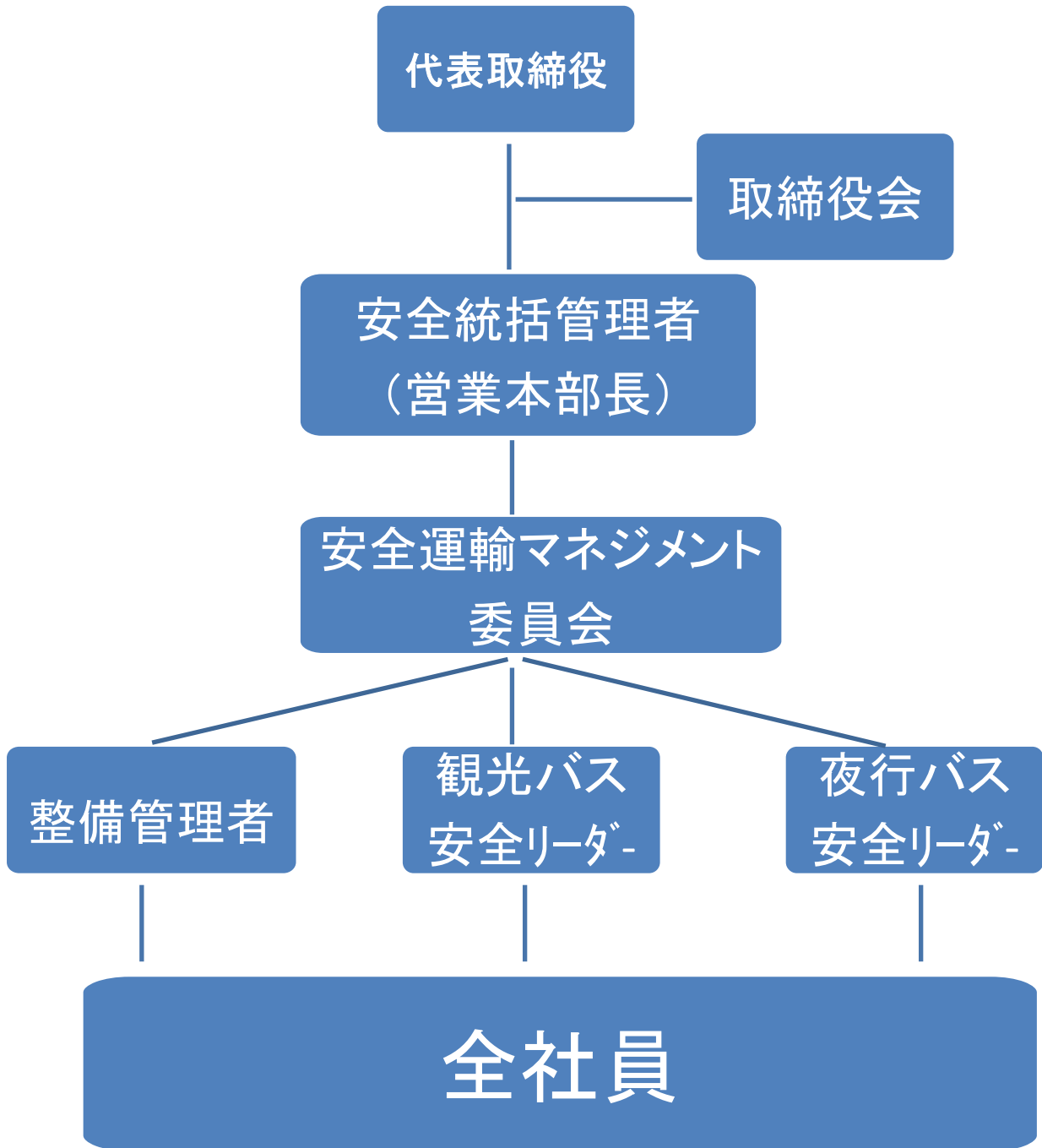
乗務員	2011/12/07 (木)	2011/12/08 (金)	2011/12/09 (土)	2011/12/10 (日)	2011/12/11 (月)	2011/12/12 (火)	2011/12/13 (水)
前田正市	06:30~(09)18:00 3149 八日会【(中ニ)サ-182】◎						埼玉県茶業青年団【(大ニ)-758】◎
坂森学	08:30~18:00 3370 知覧小学校【(中ニ)サ-181】◎						08:30~(11)18:00 3389 中国高校生訪日団第5陣B◎ 鹿児島・
森田幸治	08:30~(10)18:00 3368 株式会社 東急リゾートサービス【(中)サ-653】◎						08:30~(10)18:00 3368 株式会社 東急リゾートサービス【(中)サ-653】◎ 08:30~18:00 3382 手賀小学校【(小)コ-178】◎
竹島達也	08:30~(08)18:00 3359 一美会【(中)サ-652】◎						
吉田徹	2241◎	08:30~(09)18:00 3367 東中第10回卒業生親睦会【(小)サ-224】◎					07:30~18:00 3373 知覧武家屋敷庭園保存会【(小)サ-224】◎
牧添謙作	方面)A【(大)-1180】◎	08:30~18:00 3300 南薩義譲学校 2号車(枕崎・知覧方面)A【(大)-1180】◎					08:30~18:00 3302 南薩義譲学校 2号車(枕崎・知覧方面)A【(大)-1180】◎
別府加奈子	08:30~(08)18:00 3273 かみおか【(小)サ-156】◎						08:30~18:00 3386 岩国消防地区タクシー協会【(小)サ-156】◎ 08:30~18:00 3386 手賀小学校【(小)サ-156】◎
長崎裕司	08:30~(09)18:00 3346 シテイライナー・ウエスト(3列ト)【(大3)-1】						
藤田敬治	08:30~(09)18:00 3343 シテイライナー・ウエスト(3列ト)【(大3)-2】						08:30~(12)18:00 3383 シテイライナー・ウエスト(3列ト)【(大3)-2】
松山省一	ト)【(大3)-1】	08:30~(09)18:00 3346 シテイライナー・ウエスト(3列ト)【(大3)-1】					08:30~18:00 3383 南九州市川辺地区民生委員協議会【(大)サ-156】◎ 08:30~18:00 3391 故 松山 ムッチ 家(喪主:智保様)
紙屋実昭	08:30~(09)18:00 3343 シテイライナー・ウエスト(3列ト)【(大3)-2】						08:30~(12)18:00 3383 シテイライナー・ウエスト(3列ト)【(大3)-2】
小松政文	08:30~(07)18:00 3345 シテイライナー・ウエスト(3列ト)【(大3)-1】	08:30~18:00 3215 薩南市議会【(小)コ-178】◎					
今井睦也	08:30~(09)18:00 3272 秋のひとよし温泉・知覧3日【(大)-892】◎						08:30~18:00 3381 ちらん経友会婦人部会【(大)-892】◎ 08:30~18:00 3382 南九州市川辺地区民生委員協議会【(大)-892】◎
村方直己	08:30~(09)18:00 3378 ANAが74番-5番【(大3)-1】◎						

一覧出力 新規受注入力 新規休日入力 運行帳票出力 月次帳票出力

13:36 2011/12/07



6.運輸安全マネジメント 組織図



安全管理規程

南薩観光株式会社
運輸安全マネジメント委員会

第1章 規則

(目的)

第1条 この規程（以下「本規程」という。）は、道路運送法（以下「法」という。）第22条及び第22条の2第2項の規定に基づき、輸送の安全を確保するため遵守すべき事項を定めるとともに安全マネジメントを確実に実施し、もって輸送の安全性の向上を図ることを目的とする。

(用語の意義)

第2条 この規程における用語の意義は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 「経営トップ」とは、経営に関する意思決定を行う個人では社長、グループでは経営会議であつて、社員に指揮及び管理を行うものをいう。
- 「運輸安全マネジメント」とは、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を経営トップから現場の運転士まで浸透させ、輸送の安全に関する計画の作成、実行、チェック、改善（Plan Do Check Act「以下PDCAという。」）のサイクルを活用して事業全体の輸送の安全の確保・安全性の向上を継続的に行う仕組みをいう。
- 「安全に関する内部監査」とは、安全統括管理者又は安全マネジメントを担当する要員で安全統括管理者が指名する者が、事業の安全が適切に確保されているか、安全マネジメントが適切に実施され機能しているか等、輸送の安全の確保の状況について確認することをいう。
- 「関係法令等」とは自動車運送事業に係る輸送の安全に関する法令及び社内規程等（運転安全規程・運行管理規程・自動車運転取扱規程・自動車運転事故報告規程・飲酒運転等防止規程・安全推進委員会規程）をいう

(適用範囲)

第3条 この規程は当社の一般旅客自動車運送事業に係る業務活動に適用する。

第2章 輸送の安全を確保するための事業の運営の方針等

(輸送に関する基本的な方針)

第4条 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たす。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させる。

2 輸送の安全にかんする計画の策定、実行、チェック、改善（PDCA）を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。

(輸送の安全に関する重点施策)

第5条 前条の輸送の安全に関する方針に基づき、次に掲げる事項を実施する。

- (1) 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守すること。
- (2) 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めること。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じること。
- (4) 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有すること。
- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施すること。

2 グループ会社等が密接に協力し、一丸となって輸送の安全性の向上に努める。

(輸送の安全に関する目標)

第6条 前条の掲げる方針に基づき、目標を策定する。

(輸送の安全に関する計画)

第7条 前条に掲げる目標を達成し、輸送の安全に関する重点施策に応じて、輸送の安全を確保するために必要な計画を作成する。

第3章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制

(社長の責務)

第8条 社長は、輸送の安全の確保に関する業務全般を総理する。

- 2 社長は、輸送の安全の確保に関し、安全統括管理者の意見を尊重する。
- 3 社長は、第9条及び第10条により輸送の安全の確保に関する業務の責務を有する者の意見を踏まえ、輸送の安全を確保するための業務の実施及び管理の状況などについて確認し、必要な改善を行わせる。

(社内組織)

第9条 本規程に定める当社の輸送の安全の確保に関する組織は別紙1のとおりとし次に掲げる者を選任して輸送の安全を確保するための企業統治を的確に行う。

- (1) 安全統括管理者
 - (2) 運行管理者：「法」第23条の規定により選任された者
 - (3) 整備管理者：「道路運送車両法」第50条の規定により選任された者
 - (4) その他必要な責任者
- 2 安全推進グループリーダーは、安全統括管理者の命を受け、輸送の安全の確保に関し、所内を統括し、指導監督を行う。
 - 3 各営業所長は、安全推進グループリーダーの命を受け、輸送の安全の確保に関し、営業所内を統括し、指導監督を行う。
 - 4 輸送の安全に関する組織体制及び指導命令系統については、安全統括管理者が病気等を理由に本社で不在である場合や重大な事故、災害に対応する場合も含め、別紙1のとおりとする。

(安全統括管理者の選任及び解任)

第10条 社長は、旅客自動車運送事業運輸規則（以下「運輸規則」という。）第47条の5に規定する要件を満たす者の中から安全統括管理者を選任する。

- 2 社長は、安全統括管理者が次の各号いずれかに該当することとなったときは、当該管理者を解任する。

- (1) 国土交通大臣の解任命令が出されたとき。
 - (2) 身体の故障その他のやむを得ない理由により職務を引き続き行うことが困難になったとき
 - (3) 関係法令等の違反又は輸送の安全の確保の状況に関する確認を怠る等により、安全統括管理者がその職務を引き続き行うことが輸送の安全の確保に支障を及ぼすおそれがあると認められるとき。
- 3 安全統括管理者が病気等の理由によりその職務を遂行できない場合は、社長が適任者を指定し、その者が臨時にその職務を代行する。

(安全統括管理者の責務)

第11条 安全統括管理者は次に掲げる責務を有する。

- (1) 全社員に対し、関係法令等の遵守と輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底すること。
- (2) 輸送の安全の確保に関し、その実施及び管理の体制を確立、維持すること。
- (3) 輸送の安全に関する方針、重点施策、目標及び計画を誠実に実施すること。
- (4) 輸送の安全の確保に関する報告連絡体制を構築し、社員に対し周知を図ること。
- (5) 輸送の安全の確保の状況について、定期的に、かつ必要に応じて、随時、内部監査を行い、経営トップに報告すること。
- (6) 経営トップに対し、輸送の安全の確保に関し、必要な改善に関する意見を述べる等必要な改善の措置を講じること。
- (7) 運行管理が適正に行われるよう、運行管理者を統括管理すること。
- (8) 整備管理が適正に行われるよう、整備管理者を統括管理すること。
- (9) 輸送の安全を確保するため、社員に対して必要な教育又は研修を行うこと。
- (10) その他の輸送の安全の確保に関する統括管理を行うこと。

第4章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理方法

(輸送の安全に関する重点施策に実施)

第12条 安全統括管理者は、輸送の安全に関する基本的な方針に基づき、輸送の安全に関する目標を達成すべく、輸送の安全に関する計画に従い、輸送の安全に関する重点施策を着実に実施する。

(輸送の安全に関する情報の共有及び伝達)

第13条 安全統括管理者は、経営トップと現場や運行管理者と運転士等との双方向の意思疎通を十分に行うことにより、輸送の安全に関する情報が適時適切に社内において伝達され、共有されるように努める。また、安全性を損なうような事態を発見した場合には、看過したり、隠蔽したりせず、直ちに関係者に伝え、適切な対処策を講じる。

(事故、災害に関する報告連絡体制)

第14条 事故、災害等が発生した場合における当該事故、災害に関する報告連絡体制は別紙2のとおりとする。

- 2 安全統括管理者は、社内において報告連絡体制の周知を図るとともに、第一項の報告連絡体制が十分に機能し、事故、災害等が発生した後の対応が円滑に進むよう必要な指示等を行う。
- 3 安全推進グループリーダーは、事故、災害等に関する報告が、安全統括管理者、経営トップ又は社内の必要な部署等に速やかに伝達されるように努める。

4 自動車事故報告規則（昭和二十六年運輸省令第百四号）に定める事故、災害があった場合は、報告規則の規程に基づき、国土交通大臣へ必要な報告又は提出を行う。

（輸送の安全に関する教育及び研修）

第15条 安全統括管理者は、第6条の輸送の安全に関する目標を達成するため、必要となる人材育成のための教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、着実に実施する。

（輸送の安全に関する内部監査）

第16条 安全統括管理者は、自ら又は安全統括管理者が指名するものを実施責任とした、安全マネジメントの実施状況等を点検するため、少なくとも一年に一回以上、適切な時期を定めて輸送の安全に関する内部監査を実施する。

また、重大な事故、災害等が発生した場合又は同種の事故、災害等が繰り返し発生した場合その他特に必要と認められる場合には、緊急に輸送の安全に関する内部監査を実施する。

2 安全統括管理者は、前項の内部監査が終了した場合はその結果を、改善すべき事項が認められた場合はその内容を、速やかに、経営トップに報告するとともに、輸送の安全の確保のために必要な方策を検討し、必要に応じ、当面必要となる緊急の是正措置又は予防措置を講じる。

（輸送の安全に関する業務の改善）

第17条 社長は、安全統括管理者から事故、災害等に関する報告又は前条の内部監査の結果や改善すべき事項の報告があった場合若しくは輸送の安全の確保のために必要と認める場合には、輸送の安全の確保のために必要な改善に関する方策を検討し、是正措置又は予防措置を講じる。

2 悪質な法令違反等により重大事故を起こした場合は、安全対策全般又は必要な事項において現在よりも更に小の安全の確保のための措置を講じる。

（情報の公開）

第18条 安全統括管理者は、次の各号に掲げる輸送の安全に関する情報について、毎事業年度の経過後100日以内に、ホームページ上等において公表する。

- (1) 輸送の安全に関する基本的な方針
- (2) 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況
- (3) 自動車事故報告規則第2条に規程する事故に関する統計
- (4) 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統
- (5) 輸送の安全に関する重点施策
- (6) 輸送の安全に関する計画及び輸送の安全に関する予算等の実績額
- (7) 事故、災害等に関する報告連絡体制
- (8) 安全統括管理者、安全管理規程
- (9) 輸送の安全に関する教育及び研修の計画
- (10) 輸送の安全に関する内部監査結果及びそれを踏まえた措置内容

2 運輸規則第47条の7に基づき、輸送の安全の確保のために講じた改善状況について国土交通省に報告した場合には、速やかに外部に対し公表する。

(輸送の安全に関する記録の管理等)

第19条 本規程は、業無の実態に応じ、定期的に及び適時適切に見直しを行う。

2 輸送の安全に関する事業運営上の方針の作成にあたっての会議の議事録、報告連絡体制、事故、災害等の報告、安全統括管理者の指示、内部監査の結果、経営トップに報告した是正措置又は予防措置を記録し、これを適切に保存する。

3 第二項に掲げる情報その他の輸送の安全に関する情報に関する記録及び保存の方法は別に定める。

付 則

本規程は、平成18年10月1日より適用する。

第20条 本規定の改廃は管理規程に定めるところによる。

2 本規定改廃検討及び管理は運輸安全マネジメント委員会とする。

社内監査規程

施行 平成18年10月1日

(目的)

第一条 この規程（以下「本規程」という。）は輸送の安全を確保するため、安全マネジメントの実施状況等を点検する為、輸送の安全に関する内部監査の実施要領を定める。

(実施要領)

第二条 内部監査の基本的要領は次に定める。

① 実施責任者

安全統括管理者又は安全統括管理者が指名する者

② 実施時期

- ・ 少なくとも一年に一回以上、適切な時期
- ・ 重大な事故、災害等が発生した場合又は同種の事故、災害等が繰り返し発生した場合や、その他特に必要と認められる場合は緊急に実施する。

③ 報告、改善

安全統括管理者は、改善すべき事項が認められた時は、その内容を速やかに経営トップに報告するとともに、輸送の安全の確保のための必要な方策を検討し、是正措置を講ずること

(監査内容)

第三条 内部監査の項目については次のとおりとする。

(1) 規則帳票類の整備

- ① 運行管理規程
- ② 整備管理規程
- ③ 安全管理規程
- ④ 運行、整備管理者の選任届及び定期研修の受講状況
- ⑤ 危険物保安監督者及び衛星管理者の選任届
- ⑥ 乗務員台帳
- ⑦ 免許証台帳

(2) 運行関係

- ① 点呼簿、乗務記録簿
- ② チャート紙の保管および解析指導
- ③ 事故報告書（保存期間は3年間）
- ④ 運転基準図
- ⑤ 経路調査表

(3) 以上気象時等における措置

- ① 気象情報、道路状況の収集と把握
- ② 暴風雨警報等の伝達方法の整備
- ③ 避難箇所の指定と依頼、連絡方法
- ④ 運行中止の指示、連絡方法

(4) 過労防止

- ① 拘束時間の限度と休息期間の確保
- ② 運転時間の限度と休息等の確保
- ③ 時間外・休日労働の限度
- ④ 交替運転士の配置基準
- (5) 休息場所及び仮泊施設
 - ① 施設野保守管理
 - ② 寝具、設備等の衛生維持管理
- (6) 車両管理
 - ① 定期点検の計画、実施状況及び点検記録簿の記録、保管状況
 - ② 日常（運行前）点検の実施状況
 - ③ 車両台帳の記録、保管
 - ④ 現車確認・手入れ状態、消火器、救急箱等保守管理状況
- (7) 健康管理
 - ① 健康診断の受診状況及び結果の把握と追跡個人指導
 - ② 健康状態の把握、疾病、疲労、薬物服用等のある乗務員の乗務禁止
- (8) 乗務員の指導教育
 - ① 事故防止についての指導状況
 - ② 事故惹起者に対する指導
 - ③ 飲酒運転防止についての指導
 - ④ 事故発生時、東海地震警戒時及びテロ発生時等の連絡、指示体制
 - ⑤ 適性診断の受診及び結果に基づく指導
 - ⑥ 個人指導及び特別指導の状況、記録
- (9) 苦情処理
 - ① 苦情処理台帳の整理及び苦情についての対応状況
 - ③ 苦情に対する乗務員指導又は是正改善情